

製品名 開口部浸水対策工法

資料番号 62

通称 開口部止水

■ 製品概要

★ 国土交通省 新技術情報提供システム「NETIS」登録番号:KT-230237-A

内水氾濫や地震時の津波による浸水被害から電気設備等を守るため、建築物内の開口部に止水処理を施す工法です。電気室等の引込部では、壁に開口部を設けてケーブルを通線させている例が多くあります。しかし、従来の止水処理材では防水処理を行うことが困難でした。

本工法では、複数の材料を組み合わせることで開口部の防水処理を行います。受変電施設やポンプ施設等、水害発生時でも停止することができない重要施設等に適用していただくことで、設備の耐水化が可能となります。

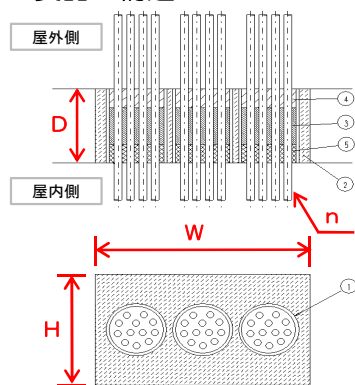
■ 工業所有権

無し

■ 製品の特長（導入効果・メリット）

- ① 既存施設に後付けで施工可能
- ② 電気設備の移設等の大規模な改修を必要としないため、コストが抑えられる
- ③ 設備を稼働させたまま短時間で施工できるため、運転を停止できない施設でも対応可能
- ④ ケーブルの後入れができるため、設備の増設にも対応可能

■ 製品の構造



① 半割管CRK

ケーブルを整理するために使用。
半割構造のため、ケーブル活線状態でも施工可能です。



② DSモルタル

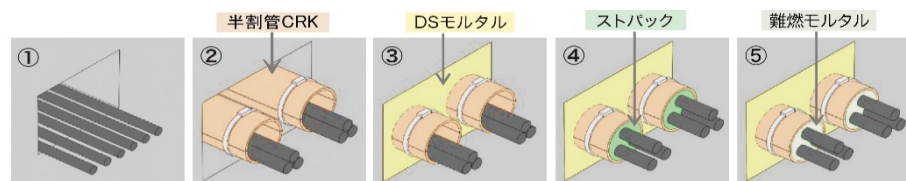
開口閉塞及びCRKの固定に使用。
樹脂モルタルのため硬化収縮が殆ど無く、開口をしっかりと閉塞します。



③④⑤ ストパックシステム

ケーブル周りの止水処理に使用。
非硬化性の水膨潤型樹脂を使用した止水材で、確実な止水を行います。

■ 製品の施工方法



ケーブルを半割管CRKでまとめて、管路形状を構築



DSモルタルを半割管CRKの周りと壁面との間に充填し、開口部を閉塞



ストパックで管路内を止水し、最後は難燃モルタルで仕上げる

■ 製品の仕様

- ・耐水圧：非硬化性の水膨潤型樹脂「ストパックシステム」と難燃モルタルを併用。0.5気圧(0.049MPa)、水頭で5m相当の圧力まで耐えられる性能を持つ。
- ・開口閉塞：一般のモルタルより高い密着性を持ち、硬化収縮がほとんど無い樹脂モルタル「DSモルタル」を使用。開口をしっかりと閉塞する。
- ・適用性：一方向からの作業で施工が完了できるため、機器等で片側が塞がっているような場所にも適用できる。

■ 販売額（標準価格）

土井製作所（下記）までお問い合わせください。

会社名 株式会社土井製作所

URL

<https://www.doi-web.com/>

所在地 東京都江東区東陽5-30-13
東京原木会館5階

問合せ先

03-3647-0151